

波崎三中生徒らに感謝状 鹿島地方事務組合消防本部

12月18日、波崎三中の生徒らに感謝状が贈呈されました。

10月20日に須田地内で発生した交通事故を目撃していた生徒4人が、学校にAEDを取りに急行。その際、同校教頭も一緒に現場に向かいAEDを操作し、現場に居合わせた看護師の中武七海さんが胸骨圧迫を行なうなど、連携して救護活動にあたりました。

消防本部の武藤消防長は、人の命を救いたいとの思い、的確で素早い判断、勇気ある行動に対し感謝を伝えました。



前列左から塚口界我さん、岩瀬羽流さん、坂尾翼さん、阿部偉大さん、後列左から浅沼教頭、武藤消防長

バルーンアートで笑顔に

11月24日、大野原西小学校のハッピータイム集会で、バルーンアートが披露されました。これは、新型コロナウイルス感染症対策として集会などができなかった時期が長かったため、少しでも児童が笑顔になれるようにと学校が企画したもの。

市内在住のバルーンアーティスト・萩原雅人さんが、赤い風船で作った帽子をかぶって登場すると、児童たちの目は帽子に釘付け。萩原さんがあらかじめ風船で作ってきた巨大トウモロコシを取り出すと、会場となった体育館には児童たちの大歓声が響き渡りました。精密に作られたその巨大トウモロコシは児童の背丈ほどもあり、制作時間はなんと7時間にも及んだそうです。

萩原さんはほかに、児童の周囲を歩き回りながら、風船でできた大きなティベアの首飾りをその場で作り上げ、手際よさに児童たちから大きな拍手が送られていました。

同校の下川校長は、今後も地域の方々の協力を得ながら、開かれた学校づくりを目指していきたいと語っていました。



陶芸体験

11月28日にやたべ土小小学校で笠間市の陶芸家を講師に招き、4年生が笠間焼の手びねり体験で鉛筆立て作りに挑戦しました。

児童は「作り始める前は、少し不安だったけれど、講師の先生のおかげで、無事に作品ができました。友達と教え合いながら作ったので、とても楽しくできました。自分の作品の焼き上がりがとても楽しみです」と話していました。

普段の授業では体験できないとても貴重な時間となりました。



「常陸産梅入りいわし煮」が農林水産大臣賞受賞！

12月6日、水戸市内で茨城県水産製品品評会の表彰式が行なわれました。

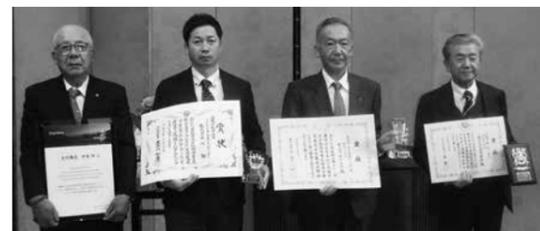
今年度は128点が出品され、市内からは(株)みうらやの「常陸産梅入りいわし煮」が農林水産大臣賞に輝きました。

「常陸産梅入りいわし煮」は波崎漁港などで水揚げされたいわしと梅干しを合わせたもので、魚のにおいが気にならないのが特徴です。

農林水産大臣賞を受賞した(株)みうらやからは「今後もお客様に喜んでいただけるよう、さらに精進し製品作りに励みます」と受賞の喜びの声をいただきました。

このほか、市内事業者の4製品も受賞しました。受賞者の皆さん、おめでとうございます！

【沿海部門】
農林水産大臣賞 (株)みうらや「常陸産梅入りいわし煮」
水産庁長官賞 (株)高木商店「寒いわし蒲焼」
茨城県知事賞 (株)川畑「フレンチ干物骨取さばパセリバター」
茨城県農林水産部長賞 (株)ソウマ「アジフライ」
ノルウェー王国大使館水産参事官賞 矢口商店「さば灰干し」



(左から)矢口商店 伊藤博さん、(株)川畑 川畑雄一さん、(株)みうらや 三浦敏克さん、(株)高木商店 高木安四郎さん

カミスココくん写真撮影会を開催！

12月16日、保健・福祉会館本館で、カミスココくん写真撮影会を開催しました。当日は、お子さん連れの家族やカップルなど50組が参加。中には、栃木県や神奈川県から駆けつけた人も。

クリスマス前ということで、カミスココくんはサンタさんの衣装でお出迎え。1組2〜3分程度と短い時間でしたが、参加者の皆さんはカミスココくんとおしゃべりしたり、写真を撮ったりと、楽しいひとときを過ごしていました。



カミスココくんと一緒にポーズ

地元小学生がフナの放流を体験

12月1日、常陸川漁業協同組合は軽野小学校の3年生たちと一緒に軽野港でフナの稚魚約4,000匹を放流しました。

毎年、地元小学校の児童を招き、水産資源の維持回復の一環である「水辺に親しむ野外体験学習」として常陸利根川でフナを放流しています。

当日は立ち会った漁業協同組合職員が、放流したフナや常陸利根川に生息する魚たちについて児童らからたくさんの質問を受けるなど、川の水産資源について学ぶ貴重な経験となったようです。



「わたしの主張」発表大会

11月25日、矢田部公民館で「わたしの主張」発表大会が開催されました。

この大会は将来の夢や希望、生き方、社会への提言などをテーマに自分の考えや決意を発表するもので、小学生の部では山口あかりさん(波崎西小・5年)が、中学生の部では藤代隆太郎さん(波崎一中・2年)が、最優秀賞を受賞しました。

山口さんは、医師不足の問題に興味を持ち、医療に関する体験講座に参加した経験から命を守る仕事の大切さに気づき、医師になってたくさんの人を助けたいと決意を発表しました。

藤代さんは、病を患った経験から、周りの人たちの支えや何気ない日常という「当たり前」の幸せに気づき、感謝の気持ちを忘れず「ありがとう」という言葉を大切にしていきたいと述べました。

令和5年度わたしの主張発表大会



波崎第一中学校
藤代さん

波崎西小学校
山口さん